



①・② クアラルンプールの街並み

③ 東南アジアで最も高い通信塔、KLタワー

④・⑤ ペトロナスツインタワー

当時脚に怪我をしていたので松葉杖での渡航でしたが、現地の方も親切にしてください快適な旅に。

⑥ チャイナタウン



旅行好きのソムリエが、世界のあっちこっちから
死ぬ前に一度は見ておくべき町を厳選してご提案します。
私があなたの次の旅をもっとわくわくさせますよ!

- 常夏で気持ちの良い気候
- 台風、地震、火山などがない
- 医療レベルも低くない
- 他民族国家ゆえに外国人に対する寛容度の高さ
- 中国系移民が多く中華料理が広く親しまれているため、食事の味付けが日本人の舌に合う
- 日系スーパーで味噌や醤油、みりん、料理酒、調理油など、日本で売られているものと同じ調味料が手に入るため、自炊すれば日本と変わらない食生活が可能

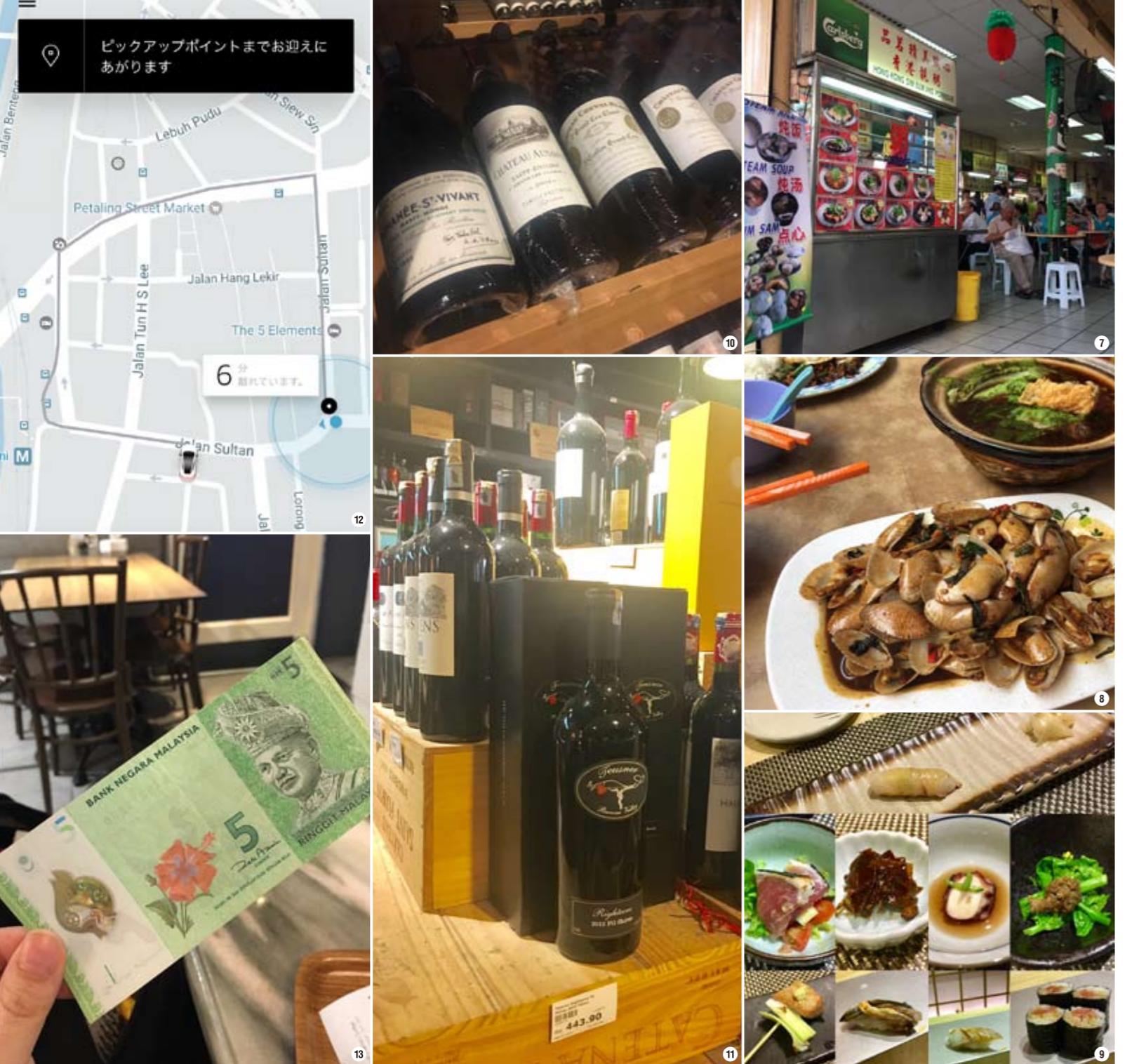


などが挙げられます。

実際に首都クアラルンプールで生活している日本人に話を聞いてみると、6万円あればセキュリティのしっかりしたプールやフィットネス完備のコンドミニアムに住め、気候のせいか人々の気質がおおらかで親日家も多いため、安定した生活が送られているとのこと。

私も観光でクアラルンプールを訪れた時は想像以上に都会であることに驚きました。もちろん東京や大阪、ソウルなどの大都會とは比べ物になりませんが、高層ビルが立ち並ぶ街は自動車と観光バスでごった返しており、伊勢丹やそごうなどの百貨店で買い物ができるのも、なるほど日本人にとっては暮らしやすそうだと感じたのは事実です。ただこれはあくまでも観光客の意見であり、実際に移住するとなるとイメージ通りにいかないことも多々あるのでしょうか…。それでも、もし海外で生活してみたい、仕事をしてみたいという思いがあるのなら、日本人の現地採用の求人が多いマレーシアは

狙い目といえます。海外に出るところが必ずしも良いというわけではありませんが、情熱は意外と長続つきしないもの、やってみたいと思った時にトライしてみることはすごく重要なと思います。日本人ならではの気配りや技術を欲しがつている人は、日本だけでなく世界にもたくさんいますよ。



⑦・⑧ チャイナタウン

⑨ 日本人シェフによる本格的な和食レストラン

⑩・⑪ イスラム教徒の多い国なのでアルコールには厳しいのかな?と思いまや、百貨店にはワインも豊富に揃っていました。安くはありませんが。

⑫ 移動はアプリを使ってタクシーを呼ぶのが便利です。それにしても、Uberって本当に便利!

⑬ マレーシアの通貨リンギット